

社会福祉法人
江東区社会福祉協議会
法人化50周年記念誌

50th

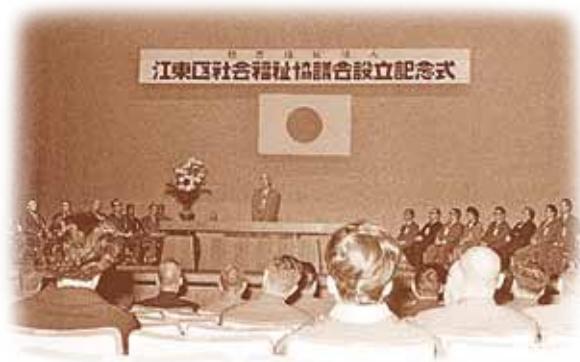


法人化50周年を迎えて



社会福祉法人 江東区社会福祉協議会
会長（江東区長）

山崎 孝明（やまざき たかあき）



目次

p2 ごあいさつ

法人化50周年を迎えて
社会福祉法人 江東区社会福祉協議会
会長 山崎 孝明

p3 50年間の活動の歩み

さまざまなニーズに応えて
発展してきた実績

p6 現在の活動の紹介

区民のみんながつながる活動

- 6 高齢者地域見守り支援事業 等
- 7 ふれあい・いきいきサロン活動支援
- 8 ホームヘルプサービス事業 (ふれあいサービス)
- 9 ファミリー・サポート事業
- 10 ボランティア活動の推進
- 11 権利擁護センター／介護保険認定調査事業
- 12 障害者福祉センター／まつのみ作業所
- 13 事業一覧

p14 50周年の感謝とこれからの江東社協

「つながる」仕組みづくりのために
社会福祉法人 江東区社会福祉協議会 役員名簿

江東区社会福祉協議会は、昭和28年3月、区民福祉の増進を目的に、区民の皆様の総意により任意団体として発足し、その後、昭和39年7月に社会福祉法人の認可を受け、おかげさまで本年、法人化50周年を迎えることができました。これは、ひとえに当協議会の会員をはじめ、区民の皆様、町会・自治会、民生・児童委員、保護司の方々や、江東区、江東区議会など、様々な関係機関のご支援、ご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

昭和28年当時、低所得家庭の自立や母子世帯の更正、引揚者援護等、戦後の混乱時代における福祉需要に対応すべく、任意団体として発足した江東区社会福祉協議会は、法人化以降、住民主体の地域福祉活動に着手するとともに、障害者通所施設等の運営に積極的に取り組んでまいりました。

昭和58年からは、障害者福祉センターの管理運営を江東区から受託し、その後、老人福祉センター、まつのみ作業所の管理運営を順次受託するなど、活動の範囲を大きく広げ、施設管理を通じた地域福祉の推進に寄与してまいりました。

平成20年代に入ってから、我が国では近隣住民や地域とのつながりがない「無縁」が大きな社会問題として取り上げられ、平成23年3月の東日本大震災以降は、人・地域・社会を結ぶ「絆」の構築が再認識されるようになりました。江東区においても、孤立死や引きこもりなどの社会的孤立の問題、経済的困窮や若年層における低所得の問題、高齢者や障害者への虐待や権利擁護の問題など、地域における様々な福祉課題が複雑化・深刻化してきています。

このような状況の中、住民主体の理念のもと、地域における支え合い活動の活性化と、自助・共助・公助を結びつける仕組みの強化が求められており、当協議会の活動は、今後ますます重要性が高まるものと認識しております。

江東区社会福祉協議会は、法人化50周年という大きな節目を契機として、団体設立の原点を再認識し、「区民一人ひとりが住み慣れた地域で、だれもが参加し、支えあい、安心してともに暮らせる『福祉のまちづくり』」を実現するため、ともに支え合う地域福祉の推進役として全力を挙げて取り組んでまいります。

これまでのお力添えに改めて感謝申し上げるとともに、皆様方のなお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

50TH
地域とともに50年
江東区社会福祉協議会

50年間の活動の歩み さまざまなニーズに応えて発展してきた実績

江東社協の主な活動・関係事項

昭和28年	3月 任意団体として発足(千田)	昭和45年	11月 全国社会福祉協議会会長より「優良社協」として表彰を受ける
昭和30年	10月 世帯更正資金(現 生活福祉資金)貸付事業開始(東社協受託)	昭和46年	10月 青い鳥ホーム年長組「青い鳥ホーム分室」として千田福祉会館に開設
昭和38年	10月 江東社協法人化第1回準備委員会開催	昭和47年	4月 若竹福祉作業所の幼児教室「竹の子教室」を千田福祉会館に開設
昭和39年	7月 社会福祉法人 江東区社会福祉協議会設立認可	昭和48年	6月 江東区役所新庁舎(現東陽町庁舎)の完成に伴い、江東社協は2階福祉事務所隣に移転
昭和40年	9月 無料はり・灸・マッサージ開始	昭和49年	7月 青い鳥ホーム、千田福祉会館に移転
昭和41年	3月 老人クラブ活動助成開始	昭和51年	9月 青い鳥ホーム跡地に「第二青い鳥ホーム」開設
昭和42年	5月 設立記念式典開催(於 江東公会堂)	昭和53年	11月 第1回江東区身体障害者スポーツ大会開催
昭和43年	10月 社協だより創刊号発行	昭和54年	6月 ボランティア相談コーナー(区役所2階区民ホールに毎月第2火曜日)開設
昭和44年		昭和55年	10月 第1回手話講座開講
昭和45年	9月 身体障害児通所施設「青い鳥ホーム」開設(住吉2)	昭和56年	5月 愛の杖交付開始
昭和46年		昭和57年	6月 第1回初級点字講習会開講
昭和47年	11月 第1回 江東区老人大学開講	昭和58年	4月 盲人(視覚障害者)ガイドヘルパー派遣事業開始、手話通訳員派遣事業開始(区受託)
昭和48年	9月 青い鳥ホーム移転(北砂4)	昭和59年	2月 第1回心身障害者作品展開催
昭和49年	10月 知的障害者通所施設「若竹福祉作業所」開設(住吉2)	昭和60年	2月 「江東区障害者福祉センター」開設、管理運営受託
昭和50年	6月 若竹福祉作業所、毛利福祉作業所内に移転(毛利2)	昭和61年	
昭和51年	8月 江東社協法人化5周年記念福祉大会開催(於 江東公会堂)	昭和62年	5月 第1回初級朗読ボランティア講習会開講
昭和52年	4月 若竹福祉作業所が区の事業となり、江東社協が受託	昭和63年	8月 社協だより新聞折り込み開始

50年間の活動の歩み

江東社協の主な活動・関係事項

昭和 58年	10月 ボランティア広報紙「ひびき」創刊号発行	平成 元年	3月 亀戸ステーションビルにおいて、ボランティア活動展を開催
11月 江東ボランティア・センターを、江東区文化センター1階に開設		3月 老人介護講習会を開催	6月 障害者作品バザー「手作り市」を開催
昭和 59年	5月 「江東区城東老人福祉センター」開設、管理運営受託	10月 「第1回福祉機器展」を障害者福祉センターを会場に開催	11月 朗読ボランティア養成講習会「実践コース」を設定
10月 ひとり暮らし老人給食サービス開始(区受託)	平成 2年	5月 ハンディキャブ(リフト付きワゴン車)の無料貸出及び運転ボランティアの紹介を行う	11月 評議員・協力員合同会議を開催し、社会福祉協力者に対する感謝状の贈呈と講演会を開催
11月 江東区城東老人福祉センターにおいて老人大学開催	平成 3年	5月 「江東区亀戸老人福祉センター」開設、管理運営受託	9月 老人大学を自悠大学と改称し、深川・城東・亀戸各老人福祉センターで開催
12月 区内外の篤志家5名・団体より150万円の寄付を受け、交通遺児援護基金を設置	平成 4年	10月 障害者福祉センター10周年を記念して、センターまつりを開催	10月 「在宅介護者のつどい」を開催
昭和 60年	2月 「江東区深川老人福祉センター」開設	平成 5年	4月 障害者福祉センター第一・第二育成室を統合し、新たに第三作業訓練室を開設
9月 江東区深川老人福祉センターの管理運営受託	平成 7年	7月 ホームヘルパー養成講座(三級・二級)を開催(区受託)	12月 高齢者総合福祉センターにボランティア・センターと共に移転
12月 伊豆大島三原山噴火被災者見舞金を歳末たすけあい募金により配分	平成 8年		 「写真提供:江東区広報広聴課」
4月 亀戸障害者通所授産施設「江東区まつのみ作業所」を開設し、江東社協が管理、江東区肢体不自由者(児)父母の会が運営	平成 10年	4月 「江東区深川老人福祉センター森下分館」開設、管理運営受託	4月 「江東区福祉公社(ふれあいサービス)が社協に統合
5月 点訳ボランティア養成事業として、点字講習会及び点訳サービスを実施(区受託)	4月 「江東区亀戸福祉作業所」開設、管理運営受託	6月 手話通訳員養成事業として、手話講習会を開催(区受託)	4月 財産保全サービス事業開始
6月 手話通訳員養成事業として、手話講習会を開催(区受託)	4月 リサイクル介護用電動ベッド貸出事業実施	10月 江東区まつのみ作業所の運営主体も社協となる	
昭和 63年			

平成 11年	3月 江東区地域福祉活動計画「粹いきプラン江東」策定		平成 15年	3月 視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業の区受託終了	
	10月 地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)を実施(東社協受託)			3月 江東区障害者地域自立生活支援センターの区受託終了	
平成 12年	3月 点訳ボランティア養成事業の区受託終了		平成 17年	3月 財産保全・管理サービス事業廃止(地域福祉権利擁護事業に統合)	
	6月 江東社協の会員あてに「事業のあらまし」を作成			4月 指定管理者として、障害者福祉センター、老人福祉センター、まつのみ作業所を管理運営(5年間)	
平成 13年	11月 三宅島からの避難者支援を実施		平成 19年	11月 傾聴ボランティア養成講習会開催	
	1月 ファミリー・サポート・センター事業開始			3月 障害者福祉センター育成室廃止	
平成 14年	3月 江東区亀戸福祉作業所管理運営の区受託終了		平成 21年	7月 権利擁護センター「あんしん江東」開設	
	4月 財産保全サービス事業を財産保全・管理サービス事業に拡大			3月 第二次江東区地域福祉活動計画「粹いきプラン江東」策定	
平成 15年	6月 「江東区障害者地域自立生活支援センター」開設(区受託)		平成 23年	5月 ファミリー・サポート事業の対象年齢を拡大	
	12月 江東ボランティアまつりを開催			3月 老人福祉センター指定管理業務終了	
平成 16年	1月 ふれあい・いきいきサロン活動支援事業開始		平成 25年	3月 東日本大震災被災者支援開始 (義援金受付、避難物資の受付、避難所内対応、被災地への職員派遣など)	
	2月 シニアボランティア講習会開催				
平成 17年	3月 ボランティア基金・交通遺児援護基金の廃止		平成 26年	4月 高齢者地域見守り支援事業受託開始 自悠大学事業、電話訪問事業、高次脳機能障害者支援促進事業、障害者就労定着促進事業を実施(区受託)	
	3月 離職者支援資金開始(東社協受託)			4月 法人後見等事業、避難者の孤立化防止事業 (東日本大震災区内被災者支援)開始	
平成 18年	3月 ホームヘルパー養成講座の区受託終了			7月 地域福祉説明会(社協出前講座)試行開始(7カ所)	
	6月 ふれあいサービスの対象範囲を拡大し、一般区民向けの一時支援・ランドリーサービスを追加			3月 第三次江東区地域福祉活動計画「粹いきプラン江東」策定	
平成 19年	3月 災害ボランティア養成講習会開催			7月 法人化50周年を迎える	

区民のみんながつながる活動

高齢者地域見守り支援事業 等

高齢者等の孤独死や社会的孤立を防ぎ、区民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域住民が主体となって取り組む見守り活動や、支え合いの体制づくりを支援します。

ただいま、区内で39のサポート地域が活動中です。



サポート地域連絡会



支え合いマップづくり



見守りサロン(南砂4)

亀戸二丁目団地自治会



平成21年より、団地内の交流の場として、また見守りの拠点としたサロンを立ち上げて、これまでに120回以上開催しました。季節に合わせた小物づくりや歌など、サロン活動に参加したことで元気になった方がたくさんいます。困り事があればすぐに駆けつけることができるのも、サロンを通して、心のつながりが大きくなったりだ、と感じています。

亀戸二丁目団地自治会
会長 長澤 寛子

大島三丁目団地



団地全体で住民の見守りに取り組もうと「高齢者等見守り支援協議会」を立ち上げました。「みまもりニュース」を作成し、役員が対象者のお宅を訪問して極力手渡しで配布しています。協議会が主催する「ふれあいサロン」、「カラオケ会」や、自治会の行事などで、顔の見える関係を紡いでいくことを、大切にしています。

大島三丁目団地
高齢者等見守り支援協議会
丹 直利

電話訪問事業



前身である電話相談事業のスタート時から活動を始め、早いもので今年でちょうど30年になります。電話越しではありますが、お話しすることで対象の方の孤独感を少しでも和らげることができれば…という思いは、開始当初と変わらずに活動しております。

電話訪問員
緒形 利江

ふれあい・いきいきサロン活動支援

地域で孤立しがちな高齢者・障害者・子育て中の親子などを囲んで、地域の方々が共同で企画・運営する、ふれあい・いきいきサロン活動に対して支援します。

ただいま、区内で77のサロンが活動中です。



ハイツふれあいサロン



居住者間の絆をより深くと月2回開催しています。介護の話、防災のこと、音楽鑑賞など、これからもよろしくお願いします。

かめさん



自主保育 深川あそび隊

未就園児親子の自主保育サークル。暑い日も寒い日も、毎週木場公園で母も子も泥んこになって遊んでいます。



ホームヘルプサービス事業(ふれあいサービス)

産前産後の世帯や高齢の方、障害がある方など日々の暮らしの中で手助けを必要とする方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように地域の方々の参加と協力(有償ボランティア)を得て行う、住民参加型の有償家事・介護支援事業を実施しています。



協力会員沐浴研修



協力会員介護研修



協力会員研修会



ふれあいサービスを通して2名の協力会員さんに、毎週リハビリを兼ねて外出を手助けしてもらっています。おかげさまで車いすから降りて少しづつ杖を使用して歩けるようになってきています。2名の協力会員に恵まれて楽しい時間を過ごしています。

利用会員
高須 藤夫



アメリカ水仙の芽が私の様に外に延びて来ている。一人では生きて行く事の出来ないことを感じながら……ふれあいサービスに登録をし、週2回協力会員の方のお手伝いで助けていただいております。法人化50周年、ほんとうにおめでとうございます。

利用会員
朝倉 幸子



現在担当しているのは、お一人暮らしの方2名で、車いすでの外出介助です。車いすを押しながらご本人の関心のある話題や興味のある世間話をしながら、できるだけ社会からの疎外感を防ぐよう心がけながら日々の活動を続けています。

協力会員
吉城 貢

ファミリー・サポート事業

子育ての手助けが必要な方（利用会員）と子育ての手助けができる方（協力会員）による相互援助活動で、地域で子育てがしやすい環境をつくるとともに、子育て家庭を支援します。



協力会員交流会「リラクセーション・ワーク」

協力会員研修会
「児童安全法短期講習」協力会員交流会
「調理実習」

自宅で仕事をしながら子育てをしています。締切前など、どうしても仕事に集中したい時に、子どもの保育をお願いしています。
子どもは協力会員さんが大好きで、活動中の詳細な報告もしてくださるので、安心して仕事に戻れます。

利用会員
大崎 紗子

現在は残業や長時間勤務のため、3歳になる三男の活動をお願いしています。その他に手話講習会の受講時にも利用しました。
協力会員さんには、家族ぐるみで子どもを大切に見ていただき、とても感謝しております。

利用会員
白坂 寿代

もともと子どもが好きで、少しでも働くお母様のお役に立てればと考え、同じく子ども好きな夫と一緒に登録しました。若い世代の両親や子ども達と知り合い、エネルギーをいっぱいもらえて、私の元気のもととなっております。

協力会員
佐藤 多喜子

ボランティア活動の推進

ボランティア・センターでは、区民のみなさんがいろいろな形で、ボランティア活動に参加できるよう、ボランティアコーディネートや各種養成講座の開催、各種助成金交付、ネットワークづくりなどの活動支援を行っています。

ただいま個人5,087人、98団体が登録しています。



区民ボランティアコーディネーター設置



ボランティア福祉体験学習



災害ボランティアセンター設置運営訓練



私のモットーは満面の笑顔。連絡会を通して、ボランティアのパワーと笑顔の輪が広がっていくことを期待しています。

江東ボランティア連絡会
(区内ボランティアネットワーク組織)
会長 本間 句子



ハンディキャブを利用してくださる方々と直接心の交流が出来て、皆様の生きる大きな力を授けていただき感謝。

ハンディキャブ(リフト付きワゴン車)
貸出事業
運転ボランティア 小澤 貞夫



相談窓口のコーディネーターは、様々な人と接する機会があり、地域見守りの訪問活動などにも大変役立っています。

江東ボラコ一會
(区民ボランティアコーディネーター団体)
会長 稲葉 博孝

権利擁護センター

日常生活に不安のある高齢の方や障害のある方が、住みなれた地域で安心して暮らせるように、福祉サービスの利用手続や財産管理の援助を行います。また、悪質商法などの権利侵害、複雑な契約や相続などの法律行為についての相談・助言、成年後見制度の利用支援、法人後見・法人後見監督の受任などを行っています。



訪問支援



私は、日常生活自立支援事業の登録型生活支援員として、認知症高齢者等の福祉サービスの利用のお手伝いや日常的な金銭管理の支援をしています。

日常生活自立支援事業
登録型生活支援員 中村 聖子



私は、江東区で初めて社会貢献型後見人（市民後見人）となりました。被後見人の預貯金の管理や日常生活での様々な契約などを支援しています。社協とは社会貢献型後見人（市民後見人）の法人後見監督人としてお世話になっています。

社会貢献型後見人（市民後見人）
中野 誠

介護保険認定調査事業

東京都の指定を受け、指定市町村事務受託法人として公平・公正な立場で介護保険要介護認定調査事業を実施しています。主に、介護保険を初めて利用される方の調査を、職員と登録調査員で行っています。



訪問調査



私達調査員は、要介護認定を申請された方の、お身体の状態や、お困りごとを拝見、拝聴させていただき認定審査会にご本人のご様子をお伝えすることが仕事です。

ご本人は、お身体の様子が優れず不安を感じてらっしゃったり、初めての介護保険利用で緊張されてたりするので、まず、笑顔でいさつすることを心がけています。

本当に困っていることは、話しにくい場合もあるので、聞き取りの際には、ご本人やご家族の気持ちに寄り添い

ながら、安心してありのままを話していただけるよう努めています。
ご本人やご家族から『聞いてもらって良かった』『肩の荷がおりた』と言っていただくと、とてもうれしく感じます。

調査の後の、ご本人やご家族の笑顔で私自身元気づけられていて、この仕事をやって良かったと感じています。

登録調査員 飯田 昌子

障害者福祉センター

区内に居住する身体・知的・精神・発達障害者(児)及び難病等政令で定める者(児)が地域社会で自主・自立活動ができるよう援助とともに障害者(児)、障害者団体、ボランティア団体に相互交流の場を提供する施設として、地域生活支援事業(地域活動支援センター事業等)、生活介護及び就労継続支援B型事業を実施しています。



園芸作業



障害者福祉センター開設以来、もう30年以上も定期的に利用させていただき、心より感謝申し上げます。江東区社会福祉協議会法人化50周年のこと、これからもより一層のご活躍を期待しております。

江東区身体障害者福祉団体連合会
会長 奥井 武雄



障害者福祉センターが開所して、30年になりますが、わが娘も18歳から20年以上お世話になっています。このように充実した日々を送れるのも社会福祉協議会のおかげだと思っています。これからも地域の方々や障害児者のためにご活躍なさいます事をお願い申し上げます。

第一作業訓練室 利用者・保護者
秋山 美由紀・幸子

まつのみ作業所

常時介護が必要な障害者に対し、日常生活上の支援を行うとともに、軽作業等の生産活動や創作的活動の機会を提供し、身体能力及び日常生活能力の維持、向上を図ることを目的とした施設です。



園外訓練



平成21年より月2回、音楽療法の時間を担当しています。一人ひとり表現は違いますが、音楽や楽器の音をとても楽しんでいることがわかります。これからもこの空間を大切に、皆さんとずっと繋がっていきたいと思います。

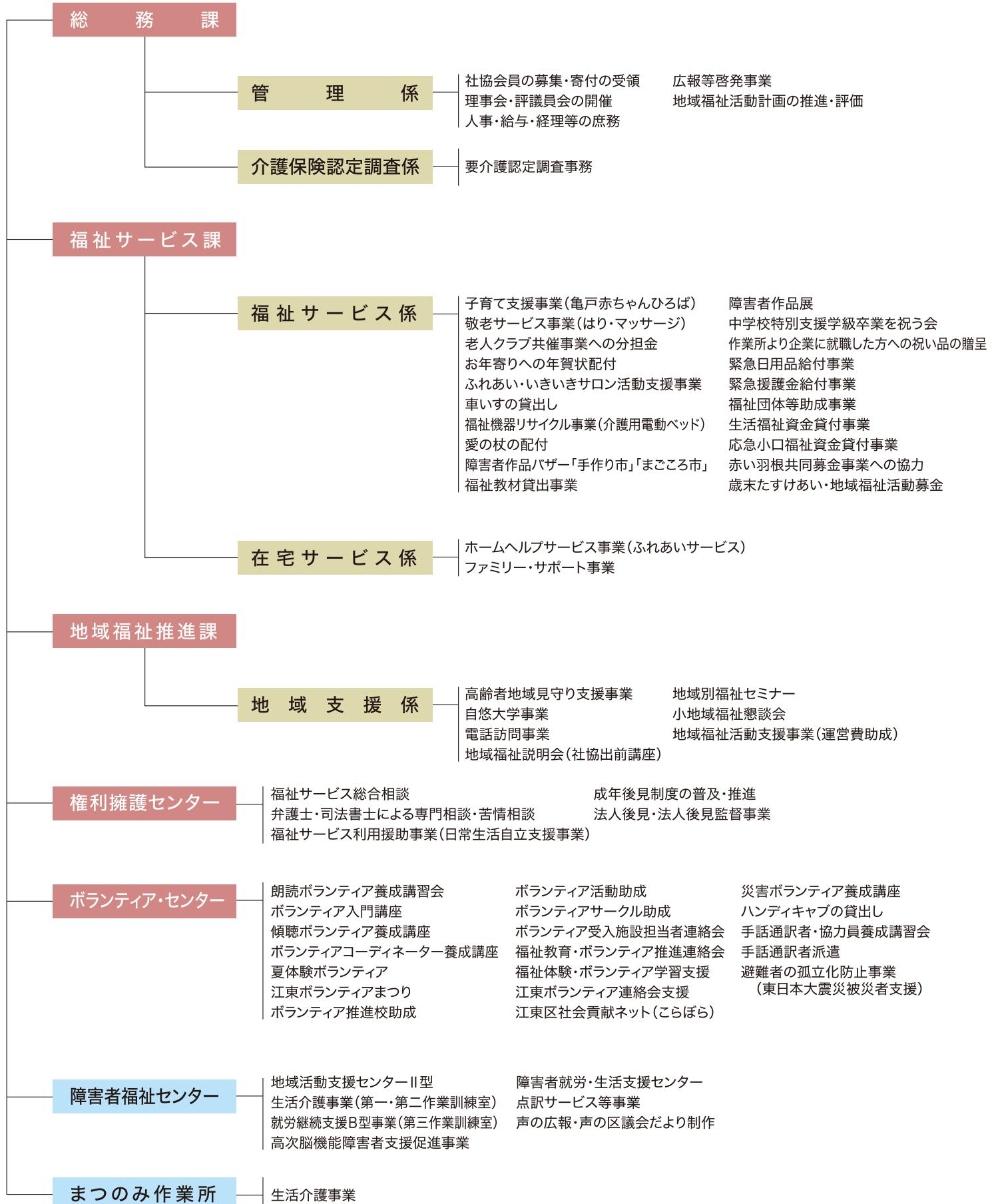
音楽療法士
寺門 恭代 小川 美奈



平成23年度より健康体操の講師をしている「前田」と申します。2カ月に1度、まつのみ作業所の皆さんと一緒に楽しく、汗をかきながら取り組んでいます。これからも、皆さんの健康のお役に立てるよう、微力ではありますが、頑張ってまいりますので宜しくお願いします。

健康体操講師 前田 致加子

事業一覧 (平成26年4月1日現在)



「つながる」仕組みづくりのために

江東区社会福祉協議会は、おかげさまで法人化50周年を迎きました。あらためて、これまで江東社協を支えてくださった皆様に、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

この法人化50周年という大きな節目の年は、当協議会の基本計画である「第三次江東区地域福祉活動計画『粋いきプラン江東』」の初年度でもあります。

この計画は、「区民一人ひとりが住み慣れた地域で、だれもが

参加し、支えあい、安心してともに暮らせる『福祉のまちづくり』」の実現を基本理念とし、「区民の自主的活動の更なる活性化をめざす」と「安心を支える仕組みの強化をめざす」を基本目標に掲げ、事業を推進していきます。特に、高齢者の社会的孤立や孤独死を防ぐ「高齢者地域見守り支援事業」や「ふれあい・いきいきサロン活動支援事業」、また、日常生活に不安のある高齢者や障害者等に対し、福祉

サービスの利用や財産管理等の援助を行う「権利擁護センター事業」等とこれらの事業をより効果的に提供するためのコーディネート機能の充実に、注力いたします。

江東区社会福祉協議会はこれからも、区民の皆様とともに、支えあい活動をはじめとした「つながる」仕組みづくりの推進に、より積極的な役割を担ってまいります。皆様の一層のご支援、ご協力ををお願いいたします。



江東区社会福祉協議会 職員集合写真
撮影:平成26年11月4日

社会福祉法人江東区社会福祉協議会 役員名簿 任期 平成24年12月16日～平成26年12月15日

役職名	氏 名	団体・役職名
会長	山崎 孝明	区長
副会長	松土 英男	町会連合会会长
〃	中嶋 利雄	砂町連合町会会长
〃	金山 見学	民生・児童委員協議会会长職務代理
〃	小倉 孝夫	民生・児童委員協議会会长職務代理
常務理事	須田 雅美	社会福祉協議会事務局長
理事	鈴木 定光	保護司会会长
〃	杉田 次助	東陽・木場地区連合町会会长
〃	徳永 雅博	区議会厚生委員会委員長
〃	会田 久雄	手をつなぐ親の会会长
〃	諸橋 章子	更生保護女性会会长
〃	本間 旬子	江東ボランティア連絡会会长
〃	上野 博文	民生・児童委員協議会豊洲地区会長
〃	網代 良太郎	東京商工会議所江東支部会長
〃	大井 哲爾	副区長
監事	佐藤 和男	亀戸町会連合会会长
〃	中村 美佐子	社会福祉法人あそか会
顧問	榎本 雄一	区議会 議長
〃	佐竹 としこ	区議会 副議長
幹事	井出 今朝信	福祉部長
〃	渡辺 広幸	こども未来部長

社会福祉法人 江東区社会福祉協議会
法人化50周年記念誌

平成26年11月発行

【発行・企画】

社会福祉法人 江東区社会福祉協議会
〒135-0016 東京都江東区東陽六丁目2番17号
Tel 03-3647-1895 Fax 03-3647-5833

【制作・印刷】

サンケイ総合印刷株式会社

【デザイン】

株式会社 東京ニュース

社会福祉法人
江東区社会福祉協議会

